

宮造協会員の皆様へ

# 宮造協NEWS Vol.27

発行元  
(一社)宮城県造園建設業協会  
TEL：022-265-5512  
FAX：022-265-5589

今回は、残月亭移築に伴う茶庭作庭に関する協定などについてお知らせいたします。

## ◆残月亭移築に伴う茶庭作庭に関する協定を締結しました

9月6日付で、残月亭移築に伴う茶庭作庭への支援に関する協定を仙台市と締結しました。これは、協会設立40周年記念事業の一環として、茶庭作庭に必要な支援を行い、杜の都・仙台に相応しい歴史的空間を創造することを目的としています。

具体的な支援内容は、次のとおりです。

(1) 作庭計画図作成及び監修 (2) 茶庭一部作庭 (3) 維持管理 (4) 現場研修  
作庭後は概ね10年程度、奉仕活動の一環として茶庭の維持管理を行うとともに、県内の若手造園技術者の育成の場として、専門家による現場研修等を実施し、後世に伝統技術を継承するものです。

### 残月亭茶庭コンセプト

「残月亭」は、手を加えない自然と歴史性、周辺との連携を重んじた青葉山公園内に位置することから、茶庭（露地）は西側の青葉山の緑樹を借景に、枯流れの源流を青葉山からの水系を辿るように配しました。樹種については、青葉山に自生している樹木とのつながりを基本に選定し、公園内施設や園路からの目線と動線にも配慮した植栽配置としています。

そこには、青葉城ゆかりの石材や地産の自然材を多く利用し、伝統的な庭園技法を随所に配することで、茶庭を訪れる人々に残月亭の歴史的理解を深めていただけるよう設計しました。また、残月亭という名から古来より月を愛で、中秋の名月などを楽しんできた人々の営みと、日本人の季節の移ろいを機微に捉えてきた感性、一木一草に心を配る自然観をコンセプトに、「時間の経過によって表れる変化が織りなす多様な美しさ」への気づきとなるよう計画しました。

## ◆ロゴマーク選考特別委員会が発足しました

10月14日に第2回理事会が書面決議で行われ、ロゴマーク選考特別委員会が発足することになりました。

委員会では、今後協会を象徴するロゴマークを公募し、県民に親しみを感じていただくとともに、協会会員が愛着と誇りを持つ作品を応募作品の中から選考していきます。

### ロゴマーク選考特別委員会メンバー

委員長 高野 徹 (副会長)

副委員長 古積 昇 (総務・企画・財政委員長)

委員 大友孝章 (県南支部長)

委員 鎌田 浩 (仙台支部長)

委員 菅野広昭 (仙台東支部長)

委員 佐藤伸也 (県北支部長)

## ◆ケヤキ洗浄作業活動に対し仙台市から感謝状が授与されました

11月2日、建設局会議室にて、協会・宮造組・日造協宮城県支部の造園3団体に、建設局長からケヤキ並木洗浄奉仕作業に対する感謝状が贈呈されました。

